

マンガピットで読めます /

これも学習マンガだ! 大人も学べるマンガ入門

第35回

マンガピットを運営する一般社団法人マンガナイトの連載です。

ジャンル：社会

『フィチン再見!』

著者：村上もとか
出版社：小学館



©村上もとか/小学館



企画監修：山内康裕
(マンガナイト代表・「これも学習マンガだ!」事務局長)
構成：鈴木史恵(マンガナイト)

昭和三十年代といえ、手塚治虫さんです。人気マンガ家となり、「トキワ荘」の若い作家たちも次々とデビューしていった時代です。彼らによる、漫画「ユーモア」という枠を超えた「ストーリーマンガ」は、新しい潮流として読者に支持されました。そんな中、旧来の「ユーモア漫画」の枠にありながら大きな人気を博した作品が、中国・ハルピンの少女を主人公とする『フィチンさん』。『フィチン再見!』は、その作者・上田としこさんの生涯を村上もとかさんが描い

た伝記マンガです。上田さんは一九一七年生まれ。当時満洲国の一部だったハルピンで幼少期を過ごし、女学生時代に抒情画で知られた松本かつぢさんに師事しました。家族との衝突や戦後の混乱など数々の困難を乗り越え、やがて「女流漫画家」の先駆けの一人となります。国際色豊かな街で培った感性と持ち前の負けん気の強さを武器に第一線で活躍し、大好きだったハルピンでの生活を元に描いた『フィチンさん』は、最大のヒット作となりました。

そんな彼女を悩ませたのが、トキワ荘世代の作家を中心とする「ストーリーマンガ」の隆盛でした。彼らを先輩作家として見つめる上田さんの視点は、その後のマンガ家の自伝や伝記作品にはないものです。そこにはもちろん村上さんによる創作要素も含まれますが、「私にストーリーマンガは描けない」と苦悩する上田さんの姿は、現在のマンガ読者には新鮮に映ります。新しい表現が生まれる時、先達を抱える葛藤はいつの時代も変わらないのだと気づかされます。さて、『フィチンさん』が描かれたのは国交正常化以前のことです。この作品は当時の子どもたちにも中国への親しみを育みまし。二〇二五年十二月現在、日中関係が緊張を増しています。この作品が象徴するような、「互いの文化を尊重し合い、楽しみ合える日常」が続くことを、願わずにはいられません。



マンガピット!

Manga Edutainment

Supported by 日本 THE NIPPON 財団 FOUNDATION

「これも学習マンガだ!〜世界発見プロジェクト〜」に選出された作品を中心に学びにつながるマンガや学習マンガを楽しめる読書空間です。
「トキワ荘の時代のマンガ100選」とあわせ、約350作品をそろえました。かつてトキワ荘のあったエリアで、ゆっくりとマンガを楽しんでみませんか?



これも学習マンガだ!
Manga Edutainment

Supported by 日本 THE NIPPON 財団 FOUNDATION

